

氏名	村 田 克 敏
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第3089号
学位授与の日付	平成9年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Relation of Iodine-123 Metaiodobenzyl Guanidine Myocardial Scintigraphy to Endomyocardial Biopsy Findings in Patients with Dilated Cardiomyopathy (拡張型心筋症における I-MIBGシンチグラフィと心内膜下心筋生検 組織所見の対比検討)
論文審査委員	教授 大江 透 教授 菅 弘之 教授 佐野 俊二

学位論文内容の要旨

拡張型心筋症24例につき、¹²³I-MIBGシンチグラフィにおける取り込みと心内膜下心筋生検所見の関係を検討した。¹²³I-MIBGの取り込みの程度は、心筋の全体像と生検を行った部位について視覚的に4段階評価し、心筋生検所見も全体としての病変の程度を4段階評価して、更にその要素である肥大、線維化、変性、単核球浸潤、錯綜配列につき、その程度も4段階評価して対比した。その結果、¹²³I-MIBGの取り込みは、心筋生検組織の病変の進行と有意に相関し、病変の中でも特に変性所見とよく相関した。又、肥大所見も相関する傾向が認められた。¹²³I-MIBGの取り込み低下も心筋組織の病理（特に変性）も、共に心筋細胞の減少やカテコールアミンによる心筋傷害が関与しており、有意な相関を認めたものと思われた。

論文審査結果の要旨

本研究は拡張型心筋症患者における¹²³I-MIBGシンチグラフィと心筋組織を比較検討した研究であるが、従来十分確立されていなかった拡張型心筋症における心筋組織と交感神経の関係に関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。